

## 祝辞

P T Aを代表いたしましたして、一言お祝いを申し上げます。

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。三年前の入学式、少し大きめの制服に身を包み、緊張の面持ちでここに座っていた皆さんには、まだあどけなさが残っていましたが、今日の堂々とした姿からはそんな様子は微塵も感じられず、みんなこの三年間で心も体も大きく成長したなど、今、改めて感じています。

また、ご来賓の皆様におかれましては、日頃より子どもたちを温かく見守ってくださり、本日も、卒業生の晴れの舞台に早朝より多数ご臨席を賜り、心よりお礼申しあげます。

さて、卒業生の皆さんは今日までどんな時間を過ごしてきましたか。皆さんのご卒業に際して、何か気の利いたお話が出来ればと考えていたのですが、私も今日は、皆さんと一緒に〇〇中学校を卒業する保護者の一人です。皆さんとのこれまでに思いを巡らせると、それだけで胸がいっぱいになってしまつて、伝えたい想いが次から次へと溢れてきてしまつて、上手く言葉になりません。

何事にもいつも一生懸命に取り組んでいた君。自分の本音を周りに伝えることが苦手で、いつも笑って我慢していた君。本当は辛いのになそれを悟られたくなくて、必死で普通なふりをしていた君。三年間という長くて短い時間の中に、楽しいことも苦しいこともたくさんあったと思います。

時には周りのみんなが敵に見えて、孤独を感じたこともあったかもしれません。そんな君たちの助けになりたくて、君たちの明日を少しでもより良いものにしてあげたくて、周りの大人たちがつい干渉

しすぎてしまったこともあったかも知れません。それが君たちには鬱陶しくて、煩わしくて「何も知らないくせに偉そうに言わないで」なんて思ったこともきつとあるでしょう。でも、どんなに拒絶されても、親である私たちも、そして先生方も、君たちと同じように葛藤しながら、今日まで君たちを見守ってきたこと、いつか気付いてもらえたらいいなと思います。

義務教育を終え、皆さんはこれからそれぞれの道へと進んでいきます。その先にはいろいろなことが待ち受けていることでしょう。今の世の中は情報が溢れすぎ、本当と嘘とが入交じり、真実がとも見えづらくなっています。だからこそ、たくさんの人に出会って、たくさん悩んで、そしていろんなことを経験して、目の前にある情報を鵜呑みにするのではなく、その真実を自分で見極められる人になって欲しいと思います。そして、誰のせいにもしない、自分自身の人生をしっかりと歩んでいってください。これからの皆さんの活躍に期待しています。

最後になりましたが、校長先生をはじめ諸先生方には本当にお世話になりました。思春期にさしかかり、とても不安定な時期の子どもたちを、叱咤激励し、道に迷わぬようにお支えいただいた先生方の愛情とご尽力に、感謝と尊敬の念をささげ、私の祝辞とさせていただきます。

本日は、ご卒業おめでとうございます。

令和〇〇年〇月〇〇日

高松市立〇〇中学校 P T A会長 △△△△